

会員事業所紹介

Jパーソンズ
 代表 今倉初弥
 東久留米市本町1-12-15
 ☎042-453-7889
 j-persons@comhome.ne.jp
<http://j-persons.lacocan.jp>

熟練職人の時計修理工房
 ☆熟練した職人が貴方の大切な時計を丁寧に格安にてオーバーホール承らせて頂きます。

☆ロレックスオメガオオメガスピードマスター、コンステレーション、シーマスター、WC・ブルガリ・チュールドル・シヤネル・コルム・カルティエ・タグホイヤー・ブライトリング・グゼニス・パセロ・イシヤ・パネライ等 高級ブランド時計のオーバーホール修理工房



熟練職人の丁寧でリペアするブランド時計
 オーバーホール修理工房

喫茶室アコルデ

代表 岸亮夫
 東久留米市東本町13-6
 ☎042-473-4496
 accorderme@yahoo.co.jp
<http://accorder.fc2web.com/>

・良質な豆を煎り方でコーヒーは味が変わってしまいます。同じように紅茶も産地や品質で断然味が異なります。焙煎や淹れ方により、美味しくも、どうにもなりません。

・ランチは、肉と魚を交互メインメニューにして、煮物など和食の味を大切にしています。また野菜を必ず使って、バランスを取るように工夫しています。

・ローストの深さの豆。従来の紅茶とフランスの紅茶を染しめまます。また、季節のケーキを味わっていただけます。



大切な憩いのひと時を最高のコーヒー、紅茶でお過ごしください。

行政書士たいけい事務所

特定行政書士 堀江誠
 東久留米市水川台1-1-9
 本間ビル1F1A
 ☎042-430-0923
 mhofe@taikei-office.com
<http://taikei-office.com/>

当事務所は、遺言・相続関連、建設業・産業廃棄物収集運搬業、宅建業などの各種許可業務、その他書類作成や手続業務を行っております。地域の皆様への身近な良き相談者として、地域に必要な不可欠な存在になりたいと存じます。地域に密着した行政書士ならではの解決策を提示してまいります。相談においては、法律的・事理的・情情的な問題がありますが、相談者に寄り添いながら、相談者に満足を得て頂けるように努力を重ねてまいります。誠実に、丁寧をモットーに、お客様の未来を創るお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。



ご相談からアフターフォローまで全力で対応させていただきます。お気軽にご相談ください。



私たちの地域ブランド 東久留米ブランドから生まれてくるもの。

商工会では東久留米市の協力を得て、平成27年度から3か年にわたり、東久留米ブランド認定事業に取り組み、2年目は飲食物を認定し、3年目はサービスものづくりの認定を行いました。

「ブランド認定事業に取り組もう」と決まった時、真っ先に浮かんだのは「東久留米に認定するようモノがあるのか」ということでした。地方に比べると特筆すべき地域資源が少ないことが都市部の共通の悩みです。

ところが、そんな中でも深く入り込むと、普段何気なく購入していたもの、食していたメニューにも色々なエピソードがあり、それが商品の価値を高めてくれるのだということが分かりました。知らないで食べるのと、知っていて食べるのでは本当に味が違うのです。

例えば、「金太」さんのピザ。

串揚げの美味しいお店なのですが、「なぜ、ピザで認定？」と思ひ、ご主人に聞いてみると「イタリアンのお店で修行していたとのこと。だからピザは美味しいし、牛ホホ肉のワイン煮込みがあんなに美味しいんだと納得しました。」

他にも、色々なエピソードが得られた本事業、3年目はサービスものづくりという難しいテーマでの認定を行いました。

何と言っても、ものづくり企業の製品は市民が直接手に取るものばかりではありません。日本に誇れる技術やアイデアがあるので、それをどのように、市内外に発信するか苦心しました。



認定会議の様子(右) 1年め「食品」の東久留米ブランドを紹介した冊子。来店を促進するラリーを企画しました。



東久留米市にお生まれの皆様、縁があって東久留米市にお住まいの皆様が「私たちの住む街には、こんなものがあります」と胸を張って言えるように、わかりやすくPRに努めたつもりです。

補助事業としては一区切りとなりますが、今後も商品サービスを提供されている事業所や団体の皆様の励みになるよう、努力して参りたいと思っております。

新会員紹介

- 9月〜12月開催の理事会で承認された新会員の皆様
- サンドラッグ 東久留米前沢店
 - 田中洋隆 ドラッグストア(前沢)
 - クリエイトS.D 東久留米前沢店
 - 廣瀬泰三 ドラッグストア(前沢)
 - 東久留米前沢店
 - 廣瀬泰三 ドラッグストア(前沢)
 - 田中実 薬局 西東京市
 - クリエイトS.D 田無西原店
 - 廣瀬泰三 ドラッグストア(西東京市)
 - サンドラッグ 東久留米幸町店
 - 田中洋隆 ドラッグストア(幸町)
 - ウエルシア薬局 東久留米本町店
 - 水野秀晴 ドラッグストア(本町)
 - キッチンサパナ バックトゥルシ インド料理(東本町)
 - ファミリーマート 滝山2丁目店
 - 那須裕之 コムニエンスストア(滝山)
 - 東久留米東久留米
 - 滝山7丁目店
 - 平賀武雄 ドラッグストア(滝山)
 - 篠宮ハラ園 造園業(滝山)
 - 宮宮政樹 クリエイトS.D
 - 東久留米柳窪店
 - 廣瀬泰三 ドラッグストア(柳窪)
 - 宮澤洋史 建設業(金山町)
 - セブンイレブン 東久留米中央町2丁目店
 - 高麗正善 コムニエンスストア
 - 山岸一 シーズンサルティング(株)
 - コンサルタント(西東京市)
 - 食彩酒房宝山 椎名実 飲食店(本町)
 - サンドラッグ 東久留米八幡町店
 - 赤尾圭哉 ドラッグストア(八幡町)
 - Patisserie cate M.YASUHIKO 吉田友行洋菓子店(本町)
 - 山崎建設 山口建設業(中央町)
 - ハックドラッグクルネ 東久留米店
 - 武藤真由子 ドラッグストア(野火止)
 - 水野秀晴 東久留米滝山店
 - ドラッグストア(滝山)
 - 高橋正太郎 金物種苗(幸町)
 - ファミリーマート 東久留米本町店
 - 後藤亮吾 コムニエンスストア(本町)
 - スギ薬局 東久留米駅前店
 - 神原栄一 ドラッグストア(本町)
 - スギ薬局 東久留米下里店
 - 榊原栄一 ドラッグストア(下里)
 - MEGADON・キホーテ 東久留米店
 - 鈴木泰斗 総合小売店(前沢)
 - ハイネット 山本務印刷業(滝山)
 - アイ英会話スクール 鈴木則子 英会話スクール(本町)
 - 行政書士たいけい事務所 堀江誠 行政書士(水川台)
 - (株)ビーボリート セールス 山田美介 広告代理店(立川市)
 - おそうじ本舗 東久留米駅前店 岩淵晃輝 ハウスクリーニング業(滝山)
 - (株)ラポール 結城啓太 コンサルティング(中央区)
 - トモズEmio 東久留米店 徳廣英之 ドラッグストア(東本町)
 - マンパワグループ(株) 職場改善事業事務局 栗原直樹 人材派遣(新宿区)
 - (株)OKYO HOKUTO 植田健一 製造業(八幡町)
 - 進栄電気工事(株) 石井晃 電機工事(柳窪)
 - 生活協同組合コープみらいコープはぐ丘店 熊崎伸 小売業(西東京市)
 - 石川克哉会計事務所 石川克哉 税理士(港区)
 - (株)アトミ 五十嵐容子 印刷業(小平市)
 - 演劇ひろば 眞喜志泰社 演劇教室(中央町)
 - (株)エスイト 小鉢真郎ビル清掃(下里)

地域ぐるみで共有する、まちの魅力、事業者の誇り、こだわり。公募で決定した東久留米ブランドのロゴ。ここには、さまざまな想いが込められていました。

モチーフは、東久留米の特産品である「小麦」。金色に輝く小麦をイメージ。「東」と「留」の文字は宝石のシルエットで、その輝きを表現するとともに、作者の方が子供の頃に遊んでいた東久留米の川にある風車をもイメージしているそうです。

このロゴマークに込められた想いのように、地域ブランドを支えるものは、そこに暮らす人、生きる人の「キモチ」。

もしかしたら、手前味噌だったり、鼠眉目だったり、いわゆる商業ベースのブランドデザインとは、多少角度が違うものかもしれないませんが、この事業を通して、あらためて、より多くの皆さんに知っていただきたい「東久留米の魅力」や、普段は目に見えない、事業者の方々の「誇り、こだわり」を発掘できたのではないのでしょうか。

これらを「東久留米ブランド」として、冊子やホームページ等でとりまとめることで、個々の魅力が、より大きな地域全体の魅力として認識されていきます。



2年めの冊子(上)は「飲食」がテーマ。グルメグランプリとして、市民の皆様とともにブランド力の強化を図りました。また、JCOMチャンネルでもその様子を紹介。多角的なPRを展開しました。3年めの冊子(左)は、ものづくり、サービスをテーマに東久留米ブランドを紹介しました。

は尽きることはありません。現状に甘んじることなく、経営戦略、商品開発、技術向上に努め続けていくことで、業績にも反映されます。商工会では、各事業者の皆様のブランド力を高めるための支援も全力で行っています。

今回ブランド事業に参加されていない皆様も、ぜひ、我が社のブランド力を見直してみたいかがでしょうか。

決して、難しいことはなく、また、事業規模の大小に関わらず、強みや個性、こだわり等、見過ごしていたことはいか、改善できることは何かを目を向けてみることで、多くの人に知ってもらいたい「魅力」を生み出していきましょう。



継続するためにいちはん大切なこと

本事業は、平成29年度までのものです。が、事業者の皆様が日頃提供する商品やサービス、技術が、地域振興の一翼を担うものであることを、意識する、心構えを持つこと、今後とも「発掘する楽しさ」

編集後記

企画広報委員長 原田豊



2期6年間、企画広報委員長として、広報誌の編集長を務めました。商工会報とは何か。そんな思いから始まりました。最初の3年間は、事業報告が多く、何か違和感を感じていました。広報誌とは言うけれど、商工会の存在意義を考え、それに沿ったものを制作するべきかと思ひながらの3年間で、2期目の3年間は編集メンバーも変わり、制作に対する考え方に変化が出てきて、内容に大きな変化を感じた方も多いでしょう。

商工会は、会員企業をサポートするのが役割だと思います。そうならば、広報誌もその考えで、制作すべきと今でも思っています。だからこそ、会員企業に役立つような情報を掲載してきました。本の紹介も経営に少しでも役立てばとの思いから掲載しました。編集後記もそうです。

ネットの活用を訴えてきたのも同じです。

この6年間で、広報誌の新たな道筋を示すことができたと思います。これからは一読者として、今後担当する編集者に期待していきます。皆さん、ありがとうございます。

東久留米ブランドから見えてくるもの。 「見逃していませんか? 意外と身近なビジネスチャンス」 NPO法人コイノニアから学ぶ クオリティアップ&商品開発術

「助成金補助金」を大いに活用しよう

東久留米ブランドに認定されたメルヘンの「ブランドケーキ」「ラムフルーツケーキ」は、日本財団が品質保証する「真心絶品」にも認定登録されたアイテム。これは、障害福祉サービス事業所でつくられる製品の中から本当に優れたものだけを厳選し、その魅力を伝えるプロジェクトです。

現在施設長を務める佐原氏が7年間にわたって叔父の店でパンやケーキづくりの修行を重ね、障がい者の働く事業所としてメルヘンを開設。その後、NPO法人格を取得し、本格的な障がい者のための就労支援、自立支援を主な事業とするコイノニアが発足し、現在はメルヘンの運営母体となっています。

障がい者の就労支援施設と一般の事業所とはあまり関わりがないように思われがちですが、ブランドに認定される「クオリティ」を誇るところに、さまざまなヒントが隠されていました。

ひとつは素材の質、配合の工夫など製品開発にしっかりとこだわったこと。これはモノづくりの基本ではありませんが、現実にはコストとの折り合いをつけなくてはならない等、さまざまな課題をクリアしなくてはなりません。が、助成金等によってブランドものの国産小麦など、ワンランク上の素材を使うことができ、クオリティの向上を実現しています。

障がい者施設だから補助金、助成金に頼るのではなく、これらを活用していかに良いものを作るかに尽力する工夫をしていくところがメルヘンの大きな特徴です。

商工会の主な会員である小規模事業者に対しても、さまざまな助成金や補助金の制度があります。マル経融資など資金繰りのメリットもさることながら、補助金などの支援施策は年々充実しています。



代表 井口信治氏

■メルヘン■ NPO法人コイノニア

東久留米市滝山5-1-16
tel.042-470-9009

* 営業時間 / 10:00~18:00
* 定休日 / 毎週日曜日祝祭日

強みを引き出す、可能性を見出している

メルヘンでは新たに可食プリンターを導入するなど、積極的な新商品開発を行っています。その背景にあるのが「人材」です。

「とても絵が得意なスタッフがいて、その特技を活かしてみようと考えました」と語ってくれましたが、障がい者の方が主なスタッフだと、商業ベースで考えるとデメリットでは…といった一般的な概念を払拭。どんな特技があるか、それをどう活かすかに目を向けての導入で、東久留米市商工会のキャラクター「ひいちゃん」のイラスト入りのクッキーや、昨年末のクリスマスシーズンにも可愛いクッキーが人気を博していました。受注生産、ノベルティや記念品として大活躍しそうな新商品です。

ここでのポイントは、自分たちにどんな特徴や強みがあるか、見逃してないかをチェックすることの大切ですが、自分では気づかないことも多々あります。

そこで、活用したいのが「エキスパートバンク」などの専門家派遣です。プロの目線で、何が強みになるか特徴になるか、分析やアドバイスを無料で受けることができます。

多角的なつながりづくりで前進

メルヘンを運営するコイノニアでは、精神障害、知的障がい、高次脳機能障がいの方々を対象とし、約40名がここで生活支援を受けています。補助や助成制度が整備されてきたとはいえ、現場では苦労がつきません。

また、法人格を取得した後に火災に見舞われるなど苦難もありましたが、他の施設と大きく違う点として「商店街」で頑張っていることでした。

障がい者支援施設は、地域社会とのカベがでがちです。敬遠されることもあるかと思いますが、空き店舗



を店舗として活用するなど、シャッター街の解消に役買い、商店街の方とも連携をとり、その一員として貢献できるように努めています。

ユニバーサル社会の実現がうたわれている昨今ですが、それは与えられるものではなく、自ら勝ち取るものといった気概を感じさせてくれました。このような姿勢は営業面にも結果が出ています。牧場と提携し、材料を仕入れ、それを牧場のお土産として製品化して納品するなど、いわゆるOEM生産を担うほどのです。

他にも、大口の注文も多く、菓子作り、パン作りの工房は活気に満ちていました。

良いものを作るための努力、情性やマンネリに流されない姿勢、そして、一人ひとりの将来がより良くなるための真心の支援。メルヘンは、今、厳しい時代にあるといわれる小規模事業者にとって素敵なヒントと出会える場でもありました。

東村山税務署からのお知らせ

【問合せ先】〒189-0555 東村山市本町1-20-22
TEL042(394)6811 代表

※お電話は、自動音声によりご案内しており、担当者からお答えします。

医療費控除を受けるための 手続きが変わりました!

「医療費控除の明細書」の 添付が必要となりました。

◎平成29年分の確定申告から、領収書の提出の代わりに
「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。
※1 医療費の領収書は自宅に5年間保存する必要があります。
※2 医療費の領収書は自宅に5年間保存する必要があります。
※3 (税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません)

※1 医療費の領収書は自宅に5年間保存する必要があります。
※2 医療費の領収書は自宅に5年間保存する必要があります。
※3 (税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません)

※1 医療費の領収書は自宅に5年間保存する必要があります。
※2 医療費の領収書は自宅に5年間保存する必要があります。
※3 (税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません)

部会・委員会レポート

商業サービス部会

部会長 大谷豊

商業とサービスの両部会が合併、新たにスタートして3年が経過しました。部会員の夕べや研修旅行、景品提供などの事業を見直しました。そして部会員の皆様のお店へお客様が出向く仕掛けとして、クーポン券事業を実施しています。

今後もお店のPR、売上額と客数の増加が見込める事業を検討していきます。



平成29年度に新しく実施した東久留米市クーポンマップで参加店を紹介しています。

建設業部会

部会長 野島美明

建設業部会では、年に4~5回の役員会を重ね、例年の親睦事業の他に、建設業に必要とされる知識や技能を習得してもらうための講習会を開催しています。



任期最終年度となる今年度は電気工事組合とタイアップして「足場の組立て等、作業従事者特別教育」講習会を開催したところ好評を博し、例年を大きく上回る76名が受講されました。

工業部会

部会長 和氣幸博

工業部会の事業としては、各事業所のすぐれた技術を広く知らせる為、多くの展示会に共同出展し、参加企業の活性化を図ってきました。

また優良企業の工場見学を通して、事業所の先端技術などの取り組みを見学し、参加各企業の将来に向けて、役に立つ研修も行うことができました。



青年部

部長 細谷高志

青年部事業につきましては、市民みんなのまつりへの出店、街バルの開催、FM西東京のラジオ番組「絆」の放送等を実施してきました。今後も、若手経営者が積極的に参加したくなるような新規事業を模索し実施していきます。

これからも青年部活動にご協力をお願い致します。



女性部

部長 岩崎友子

日頃、商工会員の皆様には女性部活動をお支え頂き感謝申し上げます。3年間「つるしびな事業」を中心に活動をして参りました。女性の目線で地域に密着した活動を会員皆様のお力を頂きながらこれからもしっかりと続けて参ります。



空き店舗対策推進委員会

委員長 齋藤正人

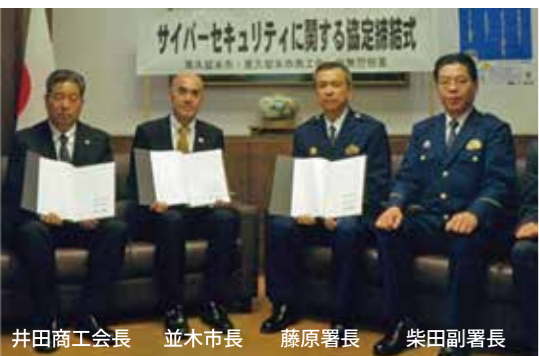
昨年度発足した空き店舗対策推進委員会は今年度に入り、市民の住宅の悩みに応える「小規模改修工事あつせん事業」を本稼働させ、商工会館駐車場脇に一際目を引く看板を設けました。また、市内の空きテナントと創業希望者等を結びつける「空き店舗対策推進事業」もホームページを立ち上げ実施の運びとなりました。今後の事業成果にご期待ください。

サイバーセキュリティ調印式

中小企業事業者等セキュリティ意識の向上を図り、サイバー犯罪やサイバー攻撃からの被害防止を図っていくために、11月13日に東久留米市、及び田無警察署との間で「東久留米市サイバーセキュリティに関する協定」を締結しました。

中小企業事業者等のサイバーセキュリティの意識は大企業に比べると総じて低いと言われております。万が一重要な情報が流出しますと、企業にとって致命傷になるケースもございます。

本協定を契機に、各種広報物などを会員の皆様にお送りしながら、サイバーセキュリティに関する意識の向上に努めたいと思っております。



井田商工会長 並木市長 藤原署長 柴田副署長

最近読んだ ビジネス書

栢野克己著
小さな会社の
稼ぐ技術

大手企業と中小企業は違います。大手企業と同じようなことをしていても、同じように結果は得られません。この本は、中小零細企業が採るべき戦略について書かれています。表紙にある「ランチェスター経営」、これが重要なキーワードです。読んで改めて、中小零細企業がするべき経営を考え直してみても如何でしょうか。

